

平成 15 年度杉並区一般会計等補正予算

平成 15 年度杉並区一般会計補正予算（第 4 号）、国民健康保険事業会計補正予算（第 1 号）、老人保健医療会計補正予算（第 1 号）、介護保険事業会計補正予算（第 1 号）は、平成 16 年 3 月 18 日に杉並区議会で可決成立しました。

1 各会計歳入歳出予算の補正（総括表）

単位：千円

会 計	補正前	補正額	補正後
一 般 会 計（補 正 4 号）	130,091,980	1,284,008	128,807,972
国 民 健 康 保 険 事 業 会 計	42,469,726	973,966	41,495,760
老 人 保 健 医 療 会 計	43,990,833	1,018,210	42,972,623
介 護 保 険 事 業 会 計	21,059,590	121,021	21,180,611

は減額

2 一般会計補正予算（第 4 号）の概要

補正事業	51 事業
補正予算額	12 億 8,401 万円
財源更正	12 事業

区民税、特別区財政交付金の増収が見込まれるものの、基金からの繰入をやめたため、減額の補正となりました。

事業予算の増減補正額を差し引いた増収分は、将来の実施計画を着実に推進するための財源として、施設整備基金や財政調整基金からの繰り入れを見送り、さらに財政調整基金に積み立てます。なお、財源更正の 12 事業については、事業費は変更ありませんが、国庫支出金などの財源増加等により財源の内訳を変更するものです。

一般会計予算規模

（単位：千円）

	予算額	特定財源		一般財源
		国・都支出金	その他	
補 正 前 の 額	130,091,980	19,976,155	11,720,273	98,395,552
補 正 額	1,284,008	184,852	3,483,112	2,383,956
補 正 後 の 額	128,807,972	19,791,303	8,237,161	100,779,508

(1) 主な歳入

特別区税の増額

区民税は普通徴収の納税義務者の増などにより当初見込みより増額となりました。

特別区財政交付金の増額

都区財政調整の当初算定における残額を原資として再調整を行うことで増額となりました。

繰入金の減額

施設整備基金及び財政調整基金からの繰り入れをやめたことで減額となりました。

(2) 主な歳出事業

財政調整基金積立金 1億2,233万円

今後の厳しさを増す財政状況に備えるために「財政調整基金」の積立に要する経費を計上しました。

社会福祉基金運営 1,522万円

NPO等介護保険事業者への貸付金が返還されたため積み立てます。

がん検診 2,895万円

胃がん、子宮がん、乳がん等の各検診の受診者数が見込みより増加しました。

区民健康診査 1億3,544万円

区民健診の受診者数が見込みより増加しました。

予防接種 1,622万円

高齢者インフルエンザの接種者数が見込みより増加しました。

公共交通体系の整備 500万円

下井草駅の駅舎改築及び駅前広場の整備事業を杉並区と西武鉄道株式会社で第三セクターを共同設立するための出資金を計上しました。

ふれあい公園整備 9,217万円

成田かっぱ公園の隣接地を購入しました。

平成15年度事業費の精算を行う等により減額となった主な事業

- ・ 職員人件費の減額 1億1,044万円
- ・ 国民健康保険事業会計繰出金の減額 6,103万円
- ・ 老人保健医療会計繰出金の減額 7,821万円
- ・ 心身障害者支援費の支払月数の減による減額 5,522万円
- ・ 生活保護受給者数が見込みより減による減額 7億195万円
- ・ 区議会議員・区長選挙の経費の実績による減額 4,113万円
- ・ 文書管理システム開発経費の減額 7,000万円
- ・ ごみ収集経費の実績による減額 9,907万円

(2) 地方債補正

建設事業の実績の増減などにより事業数と起債限度額の補正を行いました。

補正後は8事業で起債限度額の総額は29億2,100万円になりました。

3 国民健康保険事業会計補正予算(第1号)の概要

補正事業	7事業	
補正予算額	9億7,397万円	
財源更正	4事業	
歳入	療養給付費交付金の減額	6億146万円
	保険基盤安定の繰入金の増額	2億7,178万円
	繰越金を計上	3億8,316万円
歳出	医療給付費等の減額	12億円
	高額医療費共同事業拠出金を計上	1億2,053万円
	国庫等への返納金を計上	4,899万円

医療制度改革による医療費の給付が当初見込みよりも減となるために補正を行いました。

4 老人保健医療会計補正予算(第1号)の概要

補正事業	5事業	
補正予算額	10億1,821万円	
歳入	医療費交付金等の減額	10億6,124万円
	国庫支出金の減額	3億1,937万円
	一般会計からの繰入金の減額	7,821万円
	繰越金を計上	5億2,046万円
歳出	医療給付費等の減額	15億873万円
	国庫への返納金等を計上	5億2,046万円
	予備費の減額	2,994万円

医療制度改革による医療費の給付が当初見込みよりも減となるために補正を行いました。

5 介護保険事業会計補正予算（第2号）の概要

補正事業	6事業	
補正予算額	1億2,102万円	
歳入	過年度清算による社会保険支払基金から交付金を計上	6,438万円
	繰越金を計上	4,902万円
歳出	国庫等への返還金を計上	2,051万円
	過年度の交付金を一般会計に繰出す経費を計上	6,439万円
	3か年の中期財政運営における均衡を保つため、剰余金の介護保険給付費準備基金への積立	2,955万円

介護保険サービスの給付が当初の介護保険事業計画の見込みより減となるために補正を行いました。